

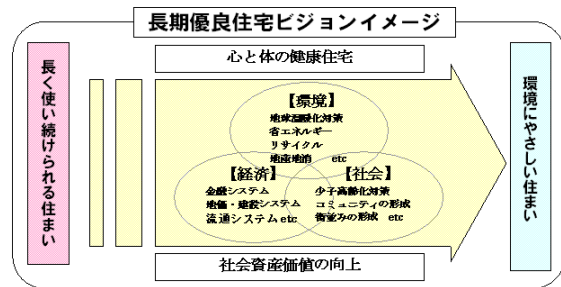
提案名	I WILL 「経年美家」 MY CUBE 「経年美家」	分野	木造等循環型社会形成の分野に係る提案
提案者	山佐産業株式会社	種別	システム提案
構造	木造（在来軸組）	建て方	一戸建ての住宅

■提案の基本的考え方

これからの住まいは「長く使い続けられる住まい」でなければならないと考えます。また、住む人の「心と体の健康」は不可欠であり、住宅そのものも「資産価値」の高いものでなければなりません。その為にも循環型社会の観点から省資源、省エネルギー、リサイクルなどに配慮した「環境に優しい住まい」こそが、これからの住宅長寿命化に向けた課題と考えます。

この住宅長寿命化に向けての手段としてスケルトン・インフィル住宅「SI住宅」の基本考え方を採用。

長期に対応可能な耐久性・耐震性・維持管理性の高い構造、工法、材料として「認証かごしま材」と地域材の活用。インフィルについては可変性に富んだ対応を可能とし、時代の変化や住み手の生活やライフスタイルの変化に対応した「家族と一緒に成長する家」をコンセプトとし、保守・点検の容易性で維持管理、リフォームに対応したシステムと、定期的なメンテナンスの遵守を推進し、併せて記録作成、運用のシステムを構築する。



■提案内容

1. 木造等循環型社会への取組み

地域ビルダーである弊社は創業61年を迎えるが、もともとは木材業として創業した。

そこで地場に根付いた「材木屋のつくる住宅を特徴にしたい」と考え、プレハブ住宅ではなく、木造在来工法の住宅づくりにこだわり、地元の良質な杉材を始め資材の一括仕入れなども行うと共に、木造在来工法の「技術・技能の継承」の場としての工場体制で加工精度のバラツキを無くした高品質・高精度の部材を円滑に各現場に送り出す物流までの全工程を自社で行い、地産地消を推進した住まいづくりを行う。

1-1. 「認証かごしま材」を使用した優良な木造住宅の建設は環境に優しい家づくり

- ・「認証かごしま材」は県内で育成・加工され、品質・寸法・乾燥等が良質な材料を使用した地元材。
- ・鹿児島県の森林環境の保全及び木材産業の活性化を図ると共に、地元で育った木で家造ること、それはその土地に最も適した家造ることにつながり、地球温暖化防止への貢献でもある。

1-2. 一貫した生産体制の中で木造在来工法の「技術・技能の継承」の場とした工場と物流体制

- ・幅広いネットワークを活かして、地元の良質な杉材を始め日本中より厳選した資材の適材適所を判断しながら仕入れ、品質管理された体制。
- ・「技術・技能の継承」への取組み
 1. プレカット工場においては機械では加工しづらい特殊形状加工や施工方法によって高い技能を持ちえた職人の手にて加工しなければならない部位があり、これらの技術・技能の継承に努める。
 2. 部材加工センターにおいては和室の化粧造作材の加工は熟練した技能が必要であるために各現場での現地加工では安定した品質での施工が難しい面がある。そこで、邸別に加工することにより統一した品質で施工が容易になる。そのための技術・技能の継承の教育も欠かせない。



2. 提案のポイント

今回は平成20年度第1回モデル事業に採択された「MY CUBE SI 工法」の改良タイプである「MY CUBE 経年家」と新規に「I-WILL 経年美家」の特徴は下記のポイントです。

2-1. 木造等循環型社会形成”の一つの目安として『木視率』の提案

●木視率は一般住宅で20%以下と言われるが、本提案では30~50%程度を基準。

①木視率によってリラックスできたり、わくわくとした気持ちになる。

- ・30%程度の部屋ではリラックスでき、脈拍数も落ち着き寝室等の目安と考える。
- ・45%ではわくわくした状態になり、リビング等の活動的な部屋の目安とする。

・90%程度になると木材量が多すぎて飽きてしまう傾向がある。※「I-WILL 経年美家」対応



2-2. 心育む、家族がふれあう住空間「絆の家」の設計手法の提案

●「センターリビング設計・オープン空間設計の提案」

・住まいの中心にリビングを設けることで、家族が外出する時や帰宅して部屋に行くときも、必ずリビングを通るので、いつでも声を掛け合うことができる。

・吹抜、勾配天井を中心とした開放感あふれる空間設計は、住まう人の豊かな心を育む。

●「SI工法（スケルトン・インフィル）の提案」

・ユーザーに上記の提案をする上で、要望・期待を表現しやすい工法。

・子供の自立、夫婦だけの生活、親御さんとの同居など家族の生活スタイルの変化、住まい方の変化、次の世代の発想に対応できる工法により、住まいへの愛着、間取りの新鮮感、変わらない安らぎが期待できる。



2-3. 地域の気候風土に対応した住まい「高気密高断熱+遮熱とパッシブデザイン」

日本には四季があり、気候の良い季節は外と通じていたいと考える中で、四季を受け止め気配りし気遣いしこまめに手入れすることに日本らしさを見つける。

そこで自然のつかみ方により窓を開ける時は開けて閉める時は閉めるなど、自然と戯れながら省エネと快適を求めつつ、自然と共生していくパッシブデザインを融合させ、高気密高断熱+遮熱を提案する。

【高断熱高気密+遮熱とパッシブデザイン】



2-4. ユーザーセミナーの実施

1.家を「長く使い続ける」という観点に立ったときに住まう人の意識の持ち方によることが大きいと感じる。そのためしっかりとメンテナンスをユーザー自身に実施してもらうことを目的とする。

2.10年以上に渡り新規のお客様へのセミナーを1回/月実施してきた実績を、今回OBのお客様との顔が見えるお付き合いの一環として「メンテナンスユーザーセミナー」の実施を計画する。



【メンテナンスユーザーセミナーの実施イメージ】

- 1.保証内容の説明・確認(お客様の自主点検の必要性も確認)
- 2.外部・内部のお手入れの仕方や設備関係の点検のやり方説明
- 3.お手入れの実習(網戸の張替え・障子紙の張替え・設備のお手入れ方法 etc)
- 4.質疑応答及び近況報告

住まいへの愛着を持っていただける場の提供で『長く使い続ける』思いが養われる

■提案者からのコメント

本モデル事業に昨年に引続き2年連続で採択を受けたことは大変、光栄なことであり、責任を感じると共に、長期優良住宅の良さをユーザーに対してしっかりと伝え、より良いものを求め安く建設出来る様に努力し、今後の普及啓蒙活動を積極的に行ってまいります。